

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ひまわりきっず			公表日	2025年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多い時は狭く感じることもある ・利用人数やメンバーによっては狭く感じる ・保育士4名、看護職員3名、自発管1名、児童指導員2名 ・人数が多い日は大部屋を使って密室にならないよう工夫している ・年齢の大きい子達が10人近くいると狭いと感じることもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員に合わせた運動療育や教室の使い方を心掛けて、怪我のないように子ども達の動けるスペースを今まで以上に心掛けていきたいと思います
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢、状態により増員してほしい時もある ・家族の看護で休まざるをえない際に応援として来てくれる方がスムーズに働けるよう日頃から応援に来て業務に慣れていると安心できる ・保育士4名、看護職員3名、自発管1名、児童指導員2名 ・児童メンバーによって職員がもう1名いたら助かる時がある ・なるべく利用者が安全に過ごせるよう、職員配置を行っているが職員の休みや会議で少ないと感じる日もあるため改善が必要 ・日に寄り違うと思う。適切な日もあれば適切出ない日もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員に合わせた職員配置、療育を行っていき怪我なく、今まで通り、それ以上の療育を出来るようにしたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーには出来ていないが声掛けや手引きを行う等して危険のないように注意している ・床のクッション材がポロポロ服につく ・授業中での絵本読誦会、音楽会、運動会、又屋外での事業が適切也 ・ゲートの段差等注意が必要なところもあるが声掛けや手引きで安全に過ごせるようにしている バリアフリーにはなっていない 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・床のクッション材の劣化が目立つため、交換が必要かと思われる ・男女別に対応して、人形劇、鉄道模型、車両型等にて対応 ・下に敷いているマットの経年劣化が気になっている。今年中に変えられなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育現場の環境設定をより一層整えるようにしていきたいと思います
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋数が少数なので対応できてないと思います ・利用者の求めに応じて、部屋を使用することが出来ている 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育内容によって対応できない時もあるが子どもたちの状態や様子を伺いながら必要に応じて使用できるようにしていきたいと思います

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・パート職員は直接参画することが難しいが何かあればノート等で周知できるよう工夫されている ・計画、実行、評価、改善を目指して全員が努力目標に保護者からの意向を設けて業務改善されている ・職員が揃う日は持てなかったが意見が言えるよう管理者が声掛けや聞く体制を整えるようにしていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、改善点を職員全員が周知し、取り組めるような環境を作っていきたいと思えます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年評価して頂き、日々の意見や意向は伺うようにしていった 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの貴重なご意見を職員一同で周知し今後の療育に取り入れていきたいと思えます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事があったという間に噂話のように広がる為、意見を出しづらい ・問題点を管理者に報告して業務改善に期待しています ・朝夕の時間に話したり、ノートを使って意見を把握できていると思う ・日々改善できるように話し合いながら取り組んでいけるようにしていた ・年に何回か決めて行えばいいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の言いやすい環境設定、守秘義務や言いやすい方法など頂いた意見を反映させたいと思えます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行っていない ・よく分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価が反映されにくくなっているため今まで以上に評価を取り入れるようにしたいと思えます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟しているFCの研修や外部研修を行っている。パートの職員が見れる機会が少なかった ・パートの方にも研修をする機会があればよいと感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・FC研修や社内研修等職員全員が受けれる環境を作ろうと思えます
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・公表されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPなどSNSで公表していきます

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・保護者の方から日々の様子をお伺いしたり、面談を通して作成をしている	・支援計画作成時には本人、親御さんのニーズをお聞きし、反映させその子1人1人にあった支援計画を作りたいと思います
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・他の職員に相談を行いつつ、利用者の最善の利益を考えていくようにしている	・支援計画作成時には児発管だけでなく職員全員の意見を抽出し色々な視点からの支援計画を作成していきたいと思います
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・全職員が個別支援計画書に基づいた支援を行っている	・個別支援計画を周知できる環境設定と連絡を徹底していきます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・色々な職員から目でアセスメントを行い、記録をつけながら確認できるようにしている	・職員1人だけでなく色々な職種、色々な目で子どもの1日の様子を記録に残して残していきたいと思います
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・具体的な支援内容となるように注意しながら適切な目標となるように設定している	・本児、家族のニーズを抽出するとともにその子自身の能力、モチベーションなどを加味した上でスモールステップでニーズに近づいて行けるような計画を今後も作成していきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・天気や利用者の人数、職員数といういろいろな要素を踏まえて職員間で相談し考えている	・活動プログラムでは子ども達が楽しんで療育に参加できる環境作りや怪我がない範囲で色々な経験を積み重ねられるような催し物を考えていきます

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・利用者の希望やニーズに合わせてプログラムを考え、固定化しないように工夫している	・療育の基盤となる柳沢運動プログラムを中心に子ども達楽しく参加できるような環境を作り、子ども達に合わせたレベル設定を今後も行っていききたいと思います
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・利用者それぞれのニーズや要望、療育目標に沿って、個別、集団と組み合わせている	・子ども達1人1人のその日の様子やモチベーション、個性を踏まえた上で療育の方針を職員で話し合い今後も取り組んでいきたいと思ひます
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・場合によって打合せ出来ないこともあった。遠方へ出かける時には必ず打ち合わせを行い、出来るようにしている	・今後は少しの時間でも療育の内容や支援方法についての打ち合わせの時間は出来る限り取るように心掛けては行きたいと思ひます ・遠方への外出の際には怪我のリスクが高くなる為、打ち合わせをしっかりと行っていきます
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・利用者のその日の様子や変わったところについては共有を行っている	・利用時のその日の変化や成長など親御さんから聞いた情報などは今後もしっかりと共有を行っていききたいと思います
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・毎日、その日のうちに記録を行い、支援の方法に疑問があれば職員で検討している	・今後も1人1人の成長が分かるように色々な目でその子を見て、記録を残していきたいと思ひます
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・半年に1度、モニタリングを行い、更新を行っている	・児童の成長、親御さんのニーズを今まで以上に抽出し個別支援計画に反映していきたいと思ひます

関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・療育に関わっている者が参画をしている	・児童発達支援管理責任者だけでなく教室全員の職員の意見や考え、その職員が児童を見た様子を聞き参画している
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・地域の関係機関と連絡を取り、連携に努めている	・今後も地域との交流は深めていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・利用者の方の通う保育所、幼稚園と情報共有を行い、本児の変化について連携を取っている	・今後はより一層の連携をして1人の児童へのアプローチをしていきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・情報提供文を作成し、情報共有に努めている	・就学時にスムーズに環境に馴染めるような情報提供文を作成していきたいと思います
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	2	0		

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0			
	31	(31は、事業所のみ回答)				・センターと連携は測っているが助言を受けられる機会がなかった	・センターとの連携を今まで以上に取れる機会を増やし、助言や相談など出来る場を作りたいと思います
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	・近所の公園等で会う地域のこと関わることもある	・地域の中で教室外との交流を今後は機会を設けてやっていきたいと思います	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎の際に保護者と教室内の状況又、自宅内での健康状況を話す ・送迎時に様子や日々のことを伝え、課題や相談に対し受けつけられるようにしている	・送迎時には必ずその日の児童の様子を聞き、些細な変化や成長など教室内での様子を親御さんへは今後とも続けていきます		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	・教室で行っていない為、地域のペアトレを紹介している	・教室からもご家族に対してご自宅で出来るプログラムやそれに準ずる研修等も出来るように尽力していきたいと思います
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時、又はご質問を頂いた時には説明を行っている	・不安を感じる部分や分かりにくい部分などないか丁寧に説明を心掛けていきます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・意向を確認しつつ、意見を頂いた時には変更や別視点からの支援方法を検討している	・個別支援計画作成時には面談をしっかりと行い、日頃の様子と照らし合わせながら本人も親御さんも納得のいく計画作成を今まで以上にしていきたいと思います
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・書類を持参し、説明させて頂いています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・ノートや送迎時等に話が出来る ・必要に応じて面談を行っているが相談を受けた場合には職員間で検討し、返事している	・どの職員が相談を受けても対応できるように情報共有を徹底していきたいと思います
保護者へ	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・なかなか参加出来ない保護者もいらっしゃるのもっと交流する機会が増えたらいいと思う ・お楽しみ会など ・お楽しみ会を開催し、保護者同士が関われる機会を設けた	・参加が難しい親御さんがいるため今後はオンラインや回数を増やすなど色々な観点からご参加出来るようにしていきたいと思います

の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・相談、申入れに対して誠実に対応していくようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・HP、インスタグラムを使用し発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・保護者へ確認を行ない、教室内で管理している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・絵カードの使用や声掛けの方法を工夫している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	・お祭りのししまいに来てもらっている。散歩に出た際は地域住民と積極的にあいさつを交わすなどしている ・ししまいへ毎年2回来て頂いている	・地域交流の場が催し物に参加するだけになってしまっているため、今後はこちらからの発信も出来たらと思います
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルが制定されているが保護者へ周知しきれていない	・マニュアルをしっかりときつずノートやSNSなどを使って親御さんへしっかりと周知したいと思います	

46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・悲観訓練を行っている。BCP策定出来ている	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・契約時に確認している。予防接種まで確認できていない	・契約時に児童の様子や既往歴など確認しているが予防接種等まで確認不足であった 今後は児童の予防接種や療育に係ることを伺っていきたいと思います
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・指示書を頂き、万が一の時に対応できるようにしている	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成している	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・周知まで出来ていない所が現状	・親御さんへの周知が徹底されてないため、きつずノートやSNSなどを使ってより周知に力を入れたいと思います
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・2回目起きないように考えている	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・年一回、研修ビデオを視聴し、注意して療育をしている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	・事前に確認をして、なるべく身体拘束を行わない努力を行っている	